

根木内歴史公園の湿地水位

2008. 9. 18

根っ子の会 森

<2008年7月11日より開始した水位観測記録>

1. 7月19日の降雨以後、8月18日(31日間)の降雨まで日照り続きで、湿地の乾燥が続きました。
 2. 7月27日より8月18日(21日間)までは、池を除いた湿地全体が水なし。
特に、8月1日より8月18日(木道側16日間、ミクリ池とキショウブ池9日間)は池の水が空になりました。
 3. 8月14日の池底部の掘削試験では、15cm地下には水面があり「ザリガニ」の生息が確認できた。
 4. 8月18日からの水面低下は1日平均1.8cm程度と推察でき、試験掘りの結果から、池の深さは現況より20cm以上深くする必要があると判断する。
 5. 一日平均の減水位1.8cmと現況の池面積を考えると、面積と深さを2倍程度確保する事が、30日以上は無降雨期間を水中生物の生存環境に欠かせない条件と考える。
木道河川側の池については地下漏水が激しく、深くすればするほど水みちが出来る恐れがあり、人工的手段を講じない方が安全かと思う。
- * ミクリ池、キショウブ池、木道三叉路辺りの池で夏期の渇水時に水を確保する対策を人為的に行う必要がある。